

スマートフォンのブラウザで視聴中の Web ページ・動画の視聴位置を保存・復旧するしおりアプリ

Arch B3 新真虎 (masatora) *

Adviser: 松谷健史 (macchan) †

概要 ホセ・アブレイユ

1 背景

スマートフォンでネットサーフィンをしているとき、読んでいる途中のページや動画を保存したいというニーズがある [1]。そうしたニーズに対応するブックマークアプリはすでに存在する [2]。

しかし、既存のブックマークアプリには以下の問題がある。

1. 保存した Web ページのスクロール位置がわからなくなる
2. 保存した動画の再生位置 (何分何秒まで見ていた・何分何秒が面白かった) がわからなくなる

その結果、Web ページや動画の視聴を再開したり、誰かに共有するたびに、どこまで読んでいたか・見ていたかを探す時間が無駄になってしまう。

2 目的

上記の問題を解決するため、スマートフォンで見ている Web ページや動画をどこまで読んでいたか・どこまで見ていたかという情報とともに保存し、復旧できるようにすることを目指す。

3 アプローチ

Web ページおよび動画のスクロール位置や再生位置を保存・復旧することのできる iOS アプリケーションを開発する [1]。

4 環境

- Xcode12
- Swift5
- ECMAScript 2015

5 実装

5.1 ユーザーフロー

ユーザーがこのアプリケーションを使用して Web ページ・動画を保存し、復旧するまでの主な手順を以下に示した。

1. Safari で Web ページや動画を視聴している
2. 共有ボタンをタップ
3. 「Shiori」 ボタンをタップして保存する
4. アプリを開くと、視聴していた Web ページ・動画が保存されている
5. 保存した Web ページ・動画をタップすると、スクロール位置・再生位置が復旧された状態で Web ページ・動画が開かれる

5.2 実装詳細

上記の機能を実現するため、Apple が提供する App Extension の一種である Share Extension という機能を利用する。Share Extension とは～～という機能である。Share Extension を利用してアプリに Web ページや動画を保存する際に、GetData.js という Javascript ファイルを実行し、以下の二つのデータを取得する。

*慶應義塾大学環境情報学部

†慶應義塾大学大学院 政策・メディアメディア研究科特任講師

- スクロール位置
- 動画の再生時間

そして、取得したデータを Web ページや動画のメタデータとして保存する。ユーザーが保存した Web ページや動画をクリックすると、アプリケーション内部でブラウザを開き、スクロール位置や再生位置を復旧させた状態で Web ページや動画を開く。

6 評価

評価のために、開発したアプリケーションが以下の 2 つの機能を実現できていることを確認する。

1. 保存した Web ページのスクロール位置が復旧できること
2. 保存した動画の再生位置が復旧できること

評価の方法として、実際に任意の Web ページ・動画を途中でスクロール・再生した上でアプリケーションに保存する。保存された Web ページ・動画をアプリケーション内で開き、保存したときのスクロール位置・再生位置が復旧するかどうか検証する。

検証には、以下の Web ページ・動画を使用した。

1. Web ページ: ネットの父・村井純が見る未来 # 01 / 理想だけを追えばいい時代が来る [?]
2. 動画: 「インターネット文明」村井純 [?]

7 結果

7.1 実現できたこと

7.1.1 保存した Web ページのスクロール位置を復旧

評価の結果、図 1, 図 2 のように、保存した Web ページのスクロール位置が復旧することを確認できた。

7.1.2 保存した動画の再生位置が復旧できることを確認

評価の結果、図 3, 図 4 のように、保存した動画の再生位置が復旧することを確認できた。



図 1 スクロールした web ページを保存



図 2 保存した Web ページのスクロール位置が復旧

7.2 実現できていないこと



図 3 再生中の動画を保存



図 4 保存した動画の再生位置が復旧